

2023 年度人文学部 FD 活動方針・計画（キリスト教学科、人類文化学科、心理人間学科、日本文化学科）

FD 活動に関して、学部全体としては、各学科の時間割担当教員、学部教務委員、学部 FD 委員からなる人文学部カリキュラム委員会において検討等をすすめていく。2023 年度は 2022 年度に行ったアンケート結果を踏まえ、障害の有無のみならず、学生と教職員が持つ多様な特徴やバックグラウンド（例えば LGBTQ+ など）への理解をさらに促進することに焦点を当てる。そして配慮や支援を超え、多様性が個性として尊重され、活かされる教育・研究環境の構築を目指した活動を計画、実施したいと考える。

また各学科では、以下のような方針・計画の実行を予定している。

キリスト教学科では、毎年「卒業プロジェクト発表会」を実施しているが、2022 年度はオンライン開催で、前年の卒論提出者全員発表形式ではなく、教育効果の観点から発表者の人数を絞る形を取り、発表と質疑応答に十分な時間を取って皆が理解しやすいようにした。この経験を踏まえた上で、より良い発表会の形を模索して行くことにしたい。また学生セミナー室の活用にも配慮して行きたい。

人類文化学科では、以下の活動を予定している。①昨年度に改訂した「研究プロジェクト」の評価方法に基づいた評価結果をふまえ、評価方法の妥当性について検討する。②昨年度に実施した学科アンケートの結果をふまえ、設問内容の妥当性、アンケート回収方法等について引続き検討する。③学生セミナー室の学生による積極的な利用を促すために、学生セミナー室に関する情報をより多く発信していくとともに、セミナー室の設備面での改善をはかる。④学科 HP の更新が滞りがちなことを鑑みて、それを改善すべく学科 HP の新たな管理体制の構築をめざす。

心理人間学科は、①多様な機会をとらえて学生、授業の情報を共有すること、②公認心理師受験資格対応カリキュラムを計画通りに進めること、③新入生、卒業生、オープンキャンパス参加者を対象とした学科教育にかかる調査活動を行うこと、④2019 年度に策定した学生の計画的な履修に対する学科の指針に沿った学生指導を行うこと、を今年度も方針とする。くわえて、⑤学科ディプロマ・ポリシーと学科科目との関連に関する検討を行うこと、⑥研究プロジェクトの複数教員による指導体制について検討していくこと、も今年度の活動方針に加えていく。活動計画としては、学科会議において、および、年度末に開催予定である学科 FD 企画において、調査等で得られたデータに基づきながら①～⑤の現状把握および改善策について学科教員で検討を行っていく。

日本文化学科では、例年卒業生に対して行っているカリキュラム調査などを参考にしつ

つ、より一層のカリキュラムの充実を目指して、継続的に話し合っていく予定である。学生への指導に際しては、従来と同様に学科内における情報の共有を怠ることなく、細やかな対応に努めることとしたい。特に、2022年度の学科FD（テーマ「アカデミックライティング教育について」）および学科自己点検・評価（テーマ「研究プロジェクトの評価について」）を踏まえて、基礎演習・演習および研究プロジェクトの指導をより充実したものにするとともに、研究プロジェクトのより適正な評価方法について検討を重ねたい。なお、昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルスの影響で、新入生のための一泊のオリエンテーション行事を中止せざるをえない。それに代わるものとして、4月上旬に予定されている新入生オリエンテーションを充実したものとし、1年生が、大学生活を円滑に始められるように、例年以上に留意していきたいと考えている。また、毎年年度末に行う学科FDについては、本年度の取り組みを踏まえて、有意義なものを開催したい。